

財団法人新潟県都市緑花センター 平成21年度事業計画

1 センター事業会計事業計画

財団法人新潟県都市緑花センターの基本財産の運用益等により、「緑豊かなまちづくりに向けた緑花の推進」「ISO 環境マネジメントシステムの推進」「県民とともに公園を育てる」をキーワードとして事業を行う。

(1) 都市緑化における調査及び研究事業

① 芝生地の管理に関する調査研究(継続)

新潟の地域特性にあった芝生地の管理手法を確立しコスト削減を図るため、鳥取県で実践されているローコスト芝生地造成管理の手法に基づき試験を実施し、調査研究を継続する。

試験地 : 紫雲寺記念公園 700 m²、県立植物園 700 m²

② ISO14001 環境マネジメントシステムの更新及び認証範囲拡大(継続)

平成19年12月に認証更新した環境マネジメントシステムの更なる発展に向けた取り組みを行うと共に、次回更新時に野球場事務室をサイトとして追加するための準備を行う。

(2) 都市緑化に関する普及及び啓発事業

① 花と緑のアドバイザー派遣制度(継続)

花と緑のアドバイザーを各種開催団体が実施する緑化講演会、緑化学習会等に派遣するとともに、センターが企画する自然観察会等においても積極的に活用する。

② 広報活動の充実(継続)

都市緑化の意義や当センターの活動状況等、情報を広く県民に提供するため、情報誌(Green sketch)の年2回発行と、平成19年度にリニューアルしたホームページについて、園芸カレンダーと花と緑のQ&Aページの充実を図る。

③ 写真コンテストの開催(継続)

まちの中の緑や花を増やし、守り育てる意識を高めるため、都市公園の魅力、まちなかの緑の効用など、写真を通して都市緑化の普及啓発を図るためのコンテストを開催する。

(3) 都市緑化に関する保全及び推進事業

① 花と緑のパートナーづくり事業(継続)

緑豊かな潤いあるまちづくりを推進するため、ボランティア団体、企業、民間団体や学校等が実施する緑化活動に対して助成する。

2 鳥屋野潟公園事業会計事業計画

新潟県都市公園条例第15条の3第1項により、県立鳥屋野潟公園（新潟県スポーツ公園）の管理・運営をアルビレックス新潟・都市緑花センターグループとして行うもの。

(1) 事業の概要

都市公園名	所在地	管理施設	H21 予算額	H20 当初予算額	増減	対前年比
			(A)	(B)	(A-B)	
鳥屋野潟公園（スポーツ公園）	新潟市清五郎地内	東北電力ビッグスワン	340,235	334,502	5,733	101.7%
		スタジアム	20,995	20,995	0	100%
		園地	178,542	178,208	334	100.2%

(2) 事業計画

①東北電力ビッグスワンスタジアム

ア) 管理運営の基本方針

スタジアムを次のとおり位置づけ、県民の多様なニーズに応え、親しみやすく広く開かれた運営を行う。

- a) 県内スポーツの殿堂
- b) 文化イベントの舞台
- c) 地域活性化の拠点

イ) 利用計画

- a) 第64回国民体育大会（トキめき新潟国体）の開閉会式、陸上競技、サッカー競技の開催。第9回全国障害者スポーツ大会（トキめき新潟大会）の開会式、陸上競技の開催。
- b) サッカー
 - ・ Jリーグ・ヤマザキナビスコ杯・なでしこリーグ、天皇杯、国際ユースサッカー決勝、県高校サッカー決勝、少年サッカー大会等
- c) ラグビー
 - ・ 大学招待試合（慶応大学 vs 法政大学）、県高校ラグビー決勝
- d) 陸上競技
 - ・ 北信越インカレ陸上大会、県高校総体、北信越中学校陸上競技大会、県中学校通信陸上、県小学生陸上、県障害者スポーツ大会等
- e) その他
 - ・ 青陵高校体育祭、鳥屋野中学体育祭、真人幼稚園マラソン大会、スポーツ用品店展示会等

ウ) 自主事業

a) スポーツ公園フェスタ

(昨年の実施概要)

- ・サッカー、ラグビー、陸上の各トーク・スポーツ教室、少年ラグビービッグスワンカップ、ミニサッカー大会、フリーマーケット、セグウェイ試乗、パブリックビューイング、バックヤードツアー等

b) 新春フェスタ

- ・トラック無料開放、餅つき大会、キャラクターショー、バックヤードツアー等

c) 都市緑花フェア

- ・少年サッカー大会、バックヤードツアー

②スポーツ公園園地

ア) 管理運営の基本方針

a) 国体成功、スポーツの拠点

b) 公園の魅力を発信

c) 自然とふれあう公園

d) 地域・住民と共に公園を育てる

e) 安全安心な公園

イ) 主要実施項目

a) 国体成功、スポーツの拠点としての取り組み

- ・多目的運動広場において強い芝生を作るため、養生シート敷設や専任スタッフでの芝刈り、施肥の回数増等きめ細かい管理を行い、利用者に良好な芝生環境を提供する。
- ・国体開催年、会場であることから、国体開催事務局等との連携を密に行い、開催会場としての対応に積極的に協力を行う。

b) 公園の魅力を発信する取り組み

- ・公園内で、カナルコンサートや、スポーツ公園フェスタ等を開催する。
- ・リーフレットの作成・配布により、開花やイベント等の旬の情報を利用者に発信すると共に、マスメディア等に積極的に情報提供を行う。

c) 自然とふれあう公園の取り組み

- ・適期の剪定や間引き等による樹木の健全育成に努めると共に、一部の生育不良箇所においては施肥・空気注入等土壌環境の改善等で樹勢の回復に図る。
- ・次世代を担う子供たちに自然・緑の大切さを学ぶ「観察会」等のイベントを開催すると共に、学校等への情報提供も行う。

d) 地域・住民と共に公園を育てる取り組み

- ・「ながたの森を愛する会」ほか、公園サポーター等と協働で花壇管理等を行う。

“ながたの森”の花壇植え付け・除草・樹木の間伐

“カナル花壇”の植え付け及び管理

“ながたの森”でのホテルの里づくり など

- ・地元商工会との連携によりイベントを開催する。

「にいがたカナル彩 春」 など

e) 安全安心な大規模都市公園の取り組み

- ・各種団体との連携により「犬のマナー講習」等イベントによる意識啓発を行う。
併せて、保健所との合同パトロールや早朝・夕方の巡回パトロール等により指導を行いマナー啓発に努める。
- ・夜間の防犯対策として、週末の駐車場夜間閉鎖の継続及び、器物損壊の見られる夏休み等に夜間巡回を行う。また、警察署や消防署等にも協力依頼する他、マスメディアに働きかけ報道での抑止も図る。
- ・「ながたの森を愛する会」の協力による合同パトロールの実施や、会員の巡回等によりマナー啓発の一翼を担ってもらう。

3 野球場公園事業会計事業計画

新潟県都市公園条例第15条の3第1項により、県立鳥屋野潟公園（スポーツ公園南地区）の管理・運営をアルビレックス新潟・都市緑花センターグループが行うもの。

(1) 事業の概要

(単位：千円)

都市公園名	所在地	管理面積	H21予算額	H20予算額	増減	対前年比
			(A)	(B)	(A-B)	
県立鳥屋野潟公園（スポーツ公園南地区）	新潟市中央区長潟地内	7.3ha	108,250	—	—	—

(平成21年7月1日より管理開始)

(2) 事業計画

①管理運営の基本方針

ア) 県民一人が年1回利用する公園に

スポーツ公園（北地区）と合わせ、「新潟県スポーツ公園」全体の年間利用者数を新潟県の人口とほぼ同数の240万人を目標とします。

イ) 新潟の野球レベルの向上

プロ野球が開催可能な球場であり、ハイレベルなプレーを間近で観戦し、且つグレードの高いグラウンドで実際にプレーすることにより、新潟の野球レベルの向上が大いに期待されます。

ウ) 安全、安心の提供

北地区での経験と技術を活かし、利用者の全てが安心して過ごせる空間を創出します。

エ) より多くのニーズに応える公園管理

「新潟県スポーツ公園」として、県民にスポーツを通じて、健康、楽しさ、感動、喜び、憩いを提供する管理を目指します。

オ) 窓口の一元化

北地区と一体的な管理を行うことで、問い合わせや案内窓口を一元化し、利用者対応を円滑に進め、大規模イベントなどの利用調整や駐車場整理をスムーズに行い、公園を含めた周辺地域の活性化を図ります

(2) 利用計画

ア) 野球を通じての県民への夢と感動の提供、競技力の向上

プロ野球の誘致、北信越BCリーグの誘致、高校野球、社会人野球の誘致、リトルリーグや小・中学校の大会・練習の誘致、野球教室の開催、ソフトボールの大会・練習誘致、

早起き野球の練習・大会誘致

イ) 野球以外のスポーツ、イベントでの幅広い利用

ゲートボール、ラグビー・サッカー教室・試合、コンサート等の文化イベント、鳥屋野
潟スポーツ公園フェスタ（北地区と合同）

4 紫雲寺記念公園事業会計事業計画

新潟県都市公園条例第15条の3第1項により、県立紫雲寺記念公園の管理運営を当センターが行うもの。

(1) 事業の概要

単位：千円)

都市公園名	所在地	管理面積	H21 予算額	H20 当初予算額	増減	対前年比
			(A)	(B)	(A-B)	
紫雲寺記念公園	新発田市 藤塚浜地 内	72.7ha	146,020	145,912	108	100.1%
			(102,585)	(102,477)	(108)	(100.1%)

※下段（ ）は屋内運動施設管理委託料（平成20年度43,435千円、平成21年度43,435千円）を除く

(2) 事業計画

①管理運営の基本方針～すべての世代、多様なニーズに応える～

多様な機能を持つ県立紫雲寺記念公園の管理運営において、公園を訪れるすべての世代の方々の多様なニーズに対応し、満足してもらえよう管理運営する。

そのために以下の公園を構成する各ゾーンの特徴を職員全員が理解し、長所を存分に引き出すための管理を実施する。

- ア) 海水浴・親水ゾーン
- イ) 海岸森林浴と憩いのゾーン
- ウ) 健康運動ゾーン
- エ) 文化交流と憩いのゾーン
- オ) 自然観察・研究ゾーン

管理運営するにあたり、「基本は安全、安心から」をモットーに常に利用者に対して安全、安心を提供する。

②主要実施項目

ア) 海水浴・親水ゾーン

- ・新発田市に安全サービスセンターの場所を提供して安全連絡員を配置し、藤塚浜海水浴場の事故防止等の安全サービスを提供することで安全で快適な海水浴場の運営を図る。
- ・新発田まつり海上花火やビーチバレー大会、学校教育活動の場等として活用してもらう。

イ) 海岸森林浴と憩いのゾーン

- ・オートキャンプ場は、供用日の拡大による利便性の向上や料金引き下げ等によるサービスの向上を図る。

ウ) 健康運動ゾーン

- ・新たに開園するチューリップ広場は、チューリップ等の華やかな花々を植栽管理し見ごたえのある広場とする。
- ・地域住民と連携してチューリップや花苗の植付け等の花壇管理を行う。
- ・多目的運動広場は、平成 21 年秋に開催されるトキめき新潟国体のサッカー会場になっているので、大会開催までは利用制限しながら芝生を養生する。
- ・屋内運動施設の供用日を拡大して利便性の向上を図る。
- ・温泉施設「紫雲の郷」と連携を強め、屋内運動施設（プール・体育館）や温泉施設を利用した健康教室を行う。

エ) 文化交流と憩いのゾーン

- ・安全、安心を提供するため、遊具は日常点検のほかに専門業者による定期点検を年 1 回行う。
- ・松くい虫等により枯損した樹木を炭焼き施設により炭化させ再資源化する。

オ) 自然観察・研究ゾーン

- ・愛鳥センターと連携して探鳥会を行う。

カ) その他（公園全体として）

- ・安全、安心を提供するため、毎日のパトロールや月 1 回の重点パトロールで植栽の生育状況や設備、遊具等の目視点検を行い、安全を確認するほか、職員に対して救急法を含めた安全衛生教育を月 1 回行う。
- ・美しい自然景観を形作っている松林を保全するために、松くい虫予防のための樹幹注入や下草刈り、被害拡大を防ぐための伐倒処理（発生状況により春と秋～冬の年 2 回）を行う。
- ・地域住民や園内施設、行政機関等との連携により、円滑な公園管理運営を図る。各種イベントへの参加や支援することで地域の活性化を図る。

5 植物園事業会計事業計画

新潟県都市公園条例第15条の3第1項により、県立植物園の管理・運営を当センターが行うもの。

(1) 事業の概要

(単位：千円)

都市公園名	所在地	管理面積	H21	H20	増減	対前年度比
			予算額	予算額		
			(A)	(B)	(A-B)	
県立植物園	新潟市秋葉区 金津地内	19.8ha	275,900	273,775	2,125	100.8%

(2) 事業計画

①管理運営の基本方針

県立植物園が目指す植物園像

- ア) 四季を通じて楽しめる魅力的な植物園づくり
- イ) 貴重な植物・自然の保全及び自然環境教育の場としての植物園づくり
- ウ) 植物に関する情報発信、啓発活動の拠点としての植物園づくり
- エ) 次世代を担う青少年の活動拠点としての植物園づくり
- オ) 世界に通用する植物園づくり
- カ) まちづくりと地域振興の拠点としての植物園づくり

②主要実施項目

- ア) 四季を通じて楽しめる魅力的な植物園づくり
 - 園地の植栽を利用したチューリップまつり（4～5月）、ボタンまつり（5月）の開催、エントランス花壇の草花植栽・プランター装飾、ハンギングバスケットコンテストの開催、新潟県を代表するツバキ、シクナゲ等の植栽（園地・温室）
- イ) 貴重な植物・自然の保全及び自然環境教育の場としての植物園づくり
 - 保全に関する研究・保全活動への技術協力、講習会、展示等の開催
 - 保全に関する研究の継続、保全活動への技術協力（オキナグサ、ミズオアイ、ヒメサユリ等）、雪割草・オキナグサ保全シンポジウムの開催、絶滅危惧植物展示等の開催、子供向け植物教室の開催、雪割草展示会の開催
- ウ) 植物に関する情報発信、啓発活動の拠点としての植物園づくり
 - 植物園だよりの発行、ホームページのリニューアル、花と緑の教室の開催、花と緑の相談所の開設、ipodによる植物展示解説、開花情報ボードの掲示、メールマガジンの発行、園内に見どころ案内チラシの設置

エ) 次世代を担う青少年の活動拠点としての植物園づくり

小学校を中心とした教育プログラムの開発と学校への呼びかけ、大学インターンシップ、学芸員実習の受け入れ、子供向け植物・園芸教室の開催

オ) 世界に通用する植物園づくり

植物多様性保全拠点園ネットワーク（日本植物園協会）への参加、環境省生息域外保全への協力、海外植物園との調査保全協力、種子・植物交換実施、研究成果の公表

カ) まちづくりと地域振興の拠点としての植物園づくり

企画展示や園内植栽を通じた各種団体との協力、地域団体との共同によるイベントの開催・花壇づくり、出張園芸教室の開催、研究機関や大学への研究協力

③その他

ア) 「2009 新潟県大観光交流年」関連イベントである「新潟市水と土の芸術祭」（新津美術館ほか新潟市各所で開催）の地域イベントとして「花のにいがた ハンギングバスケット コンテスト」を開催予定

イ) いけばな龍生派全国大会の開催

6 収益事業会計事業計画

(1) 請負業務

施設名	施工地	予算額(千円)
南側駐車場管理	新潟市中央区長潟地内	450
新潟県都市緑花フェア開催委託	新潟市中央区長潟地内	1,000
合計		1,450

(2) 寄付行為第4条(5)に基づく、物品販売事業等の収益事業

公園名	事業内容
鳥屋野潟公園	① レストランの営業 ② 自動販売機事業 11台 ③ 売店事業 ④ 公衆電話事業 2台
紫雲寺記念公園	① バーベキュー卓利用管理事業 7卓 ② 炊事棟「釜」管理事業 4口 ③ 自動販売機事業 5台 ④ 売店事業(オートキャンプ場)
植物園	① カフェテリアの営業 ② 売店事業 ③ 自動販売機事業 4台 ④ 公衆電話事業 2台
その他	① 図書の販売 「里山の植物」の販売 「ようこそ緑の夢王国」の販売

(3) 指定管理公園内の緑花センター自主イベント開催

自主イベント開催時の物品販売等にかかる事業

公園名	事業内容
植物園	① 「植物園の日」(みどりの日) イベント開催(5月4・5日) ② 秋の植物園まつり(9月20・21日)
紫雲寺記念公園	① チューリップまつりの開催(4月29日)

7 全国都市緑化にいがたフェア記念特別会計事業計画

「第15回全国都市緑化フェア」実行委員会より寄付された浄財で行なう事業

(1) フェアイベント等開催費

新潟県が主催、後援するもの及び緑化推進団体が開催する都市緑化イベントを通して、緑化意識の普及・啓発に努める。

- ・ 春の都市緑花フェア：新潟県スポーツ公園（新潟市）平成21年4月25、26日
- ・ 秋の都市緑化月間イベント：新潟県立植物園 平成21年9月20、21日
- ・ 緑化イベント協賛：国体会場他 平成21年4月～10月
- ・ フラワーウェーブ新潟：新潟ふるさと村（新潟市）平成22年3月（予定）
- ・ 緑の百年物語フェスティバル：岩船郡関川村 平成21年10月10日（予定）